

17 保健・健康づくりの推進

- 乳幼児期から高齢期に至るそれぞれの時期に応じた健康づくりを支援します。
- 健やかな成長と健康維持、地産地消の推進に向け食育の充実に取り組みます。

現状と課題

<保健・健康>

- 医療・介護費用の増大が懸念される中、健康づくりに対する重要性は更に高まっており、国においてもがんや循環器疾患、糖尿病等の生活習慣病*対策の充実を進めています。
- 安芸高田市では、市の健康増進計画「健康あきたかた 21」に基づき生活習慣病対策、こころの健康づくりの推進、食育の推進等の保健事業を推進しています。
- 健診受診率は、県平均よりも高い状況を維持しています。↑
- しかし、糖尿病等の生活習慣病予備群や治療者が多いこと、アルコール飲酒者が多いこと等もあり、生活習慣病や精神疾患の発症予防、重症化予防を目的とした市民への啓発や健康づくりへの意識改革に努める必要があります。
- 保健事業を推進する上で、自助・共助・公助*の役割分担を意識し、中でも自助を高める取り組みを推進し、結果として健康寿命の延伸と医療費の抑制を目指します。

目標指標

目標指標	現状値 (H25)		目標値 (H31)
メタボリックシンドローム*該当者・予備群の減少率	23.5%	➡	25%
食育に関心を持っている人の割合	63.8%	➡	80%
ストレスを軽減できている人の割合	50.0%	➡	58%
定期的に歯科健診を受けている人の割合	13.2%	➡	30%



具体的施策（公助）

施策65 健康づくりの推進

- 乳幼児期から高齢期の各時期に応じた健康教育の充実により意識啓発を図ります。
- 食生活の改善やウォーキング等の運動の習慣化による健康づくりを支援します。
- 禁煙指導や分煙対策の推進等、喫煙対策の充実を図ります。

施策66 疾病予防対策の充実

- 基本健康診査や各種がん検診の充実と受診率向上に努めます。
- 医師会や歯科医師会、薬剤師会等との連携を強化し、生活習慣の改善等に向けた専門的指導を行います。

施策67 食育の推進

- 食生活に関する正しい知識の普及啓発に努めます。
- 健やかな成長や生活習慣病の予防等、各世代に応じた食育を推進します。

施策68 母子保健対策の充実

- 妊産婦、乳幼児の健康の維持増進を図るため、妊娠・出産・乳幼児期を通じた一貫した母子保健対策の充実を努めます。

施策69 精神保健対策の充実

- 精神障害者とその家族を支え、精神障害者の社会復帰を促進していくため、関係機関と連携し、相談・指導體制の充実を図ります。
- 鬱をはじめとする心の不調の早期発見、早期治療体制の充実を図るとともに、自殺予防対策の充実を努めます。

施策70 歯科保健対策の充実

- 歯科保健に関する正しい知識・習慣等の普及啓発を行い、生涯の各時期に応じた歯科保健教育や相談を実施します。

施策実現につなげる自助・共助

- ▶ 市民は、生涯にわたり自ら健康管理を行い、積極的な健診受診、早期発見・早期治療・重症化予防に努めましょう。
- ▶ 地域住民で声を掛け合い、地域の仲間とともに健康づくりに取り組みましょう。

18 医療体制の充実

- 厚生連吉田総合病院を核とする地域医療体制の充実に取り組みます。
- 小児科や産婦人科、休日・夜間救急診療等の充実に努めます。
- 感染症の予防、蔓延防止に努めます。

現状と課題

<医療体制>

- 安芸高田市の医療施設は、病院2か所（病床数 851 床）、一般診療所 30 か所（病床数 77 床）、歯科診療所 18 か所からなり、本市の中核病院である厚生連吉田総合病院を中心とする地域医療体制が構築されています。
- 人口 10 万人当たりの医師数をみると国・県に比べて低い状況となっているほか、患者数は病院・診療所ともに減少傾向にあり、病院の経営状況を悪化させる要因となっています。
- 患者数減少の原因には、人口減少に加え、施設の老朽化・医師不足等に伴う隣接市への患者流出も一因と考えられ、関係機関の緊密な連携の下、計画的かつ戦略的な取り組みが求められます。
- 休日・夜間の初期救急*医療は、安芸高田市医師会が実施する在宅当番医制*（産婦人科・眼科のみ）と厚生連吉田

総合病院が運営する高田地区休日夜間救急診療所が担っています。

- 休日・夜間の二次救急*医療は、救急告示病院*である厚生連吉田総合病院と病院群輪番制*病院の広島市立安佐市民病院が担っています。
- 歯科においては、安芸高田市歯科医師会が年末年始の在宅当番医を実施しています。
- 高田地区休日夜間救急診療所へは、病院医師の負担軽減のため、安芸高田市医師会からの医師派遣支援により維持されている状況にあります。
- 子育て環境の充実に向け、産婦人科医や小児科医等の確保が求められています。

<感染症対策>

- 新型インフルエンザ等の新たな感染症の発生が見られ、緊急時の対策強化が求められています。

目標指標

目標指標	現状値 (H25)		目標値 (H31)
人口 10 万人当たりの医師数	219 人	➡	250 人
65 歳以上インフルエンザ予防接種率	67%	➡	70%
医療体制の充実に対する満足度（4 点満点）	2. 56	➡	3. 1



具体的施策（公助）

施策71 地域医療体制の充実

- 病院・診療所の医療機関の機能分担を図り、医師会・歯科医師会等との連携や医療機関相互の連携を推進します。
- 中核病院である厚生連吉田総合病院の機能充実に努めます。
- 厚生連吉田総合病院の機能強化を図るべく、関係機関の連携のもと、災害拠点病院認定に向けた取り組みを推進します。
- 日ごろから何でも相談できるかかりつけ医を持つよう、市民の意識啓発を図ります。

施策72 受診機会の拡充

- 病状に応じた適切な診療、子育て世代の定住促進等に向け、小児科や産婦人科をはじめとする診療科目の充実、診療時間の延長に努めます。
- 地域における医療看護の担い手を確保するため、未就労の有資格者（保健師、看護師、歯科衛生士等）の有効な活用を推進します。

施策73 救急医療体制の充実

- 休日・夜間救急の体制充実に向け、広島県救急医療情報ネットワークの効果的な活用を推進します。
- 広島県小児救急医療電話相談等の有効な活用を推進します。

施策74 感染症対策の充実

- 感染症の蔓延防止のため、予防接種の推進や、インフルエンザ、結核、エイズ予防等に対する正しい知識の普及や検診の実施及び意識啓発に努め、予防を促進するとともに、迅速で適切な医療の確保に努めます。
- 新型インフルエンザ等の新たな感染症の発生に備えた、緊急時の体制整備の充実を図ります。

施策実現につなげる自助・共助

- ▶ 市民は、自分のかかりつけ医をもつよう努めましょう。
- ▶ 市民は、疾病に関する正しい知識を持ち、医療機関の適切な利用を心がけましょう。

19 高齢者福祉の充実

- 介護予防や生きがいづくり等、自立した生活を持続する支援に取り組みます。
- できるだけ長く地域で生活できるよう、地域包括ケア体制を強化します。
- 介護保険サービスの維持・向上に努めます。

現状と課題

<介護保険・介護予防>

- 高齢化が進行する中、後期高齢者、認知症高齢者、在宅の要介護者が増加傾向にあります。
- 施設入所に対する希望は依然として高く、特別養護老人ホームの入所待機者（要介護1以上）は598名（平成26年4月時点）となっており、適正な入所定員の確保が必要となっています。
- 「できるだけ自宅で生活したい」というニーズも強く、介護予防サービスや生活支援サービス*の充実、それらを支える基盤となる「地域包括ケア*」の体制整備が急がれています。
- 高齢者福祉施設は老朽化が進んでおり、今後の施設利用者数の動向を見据え、施設の存続・統合・廃止等、適正化に向けた検討を進めていく必要があります。

<地域福祉>

- 高齢者の地域での暮らしを支えていくにあたり、公的サービスで賄いきれないきめ細やかな支援を行うためには、家族をはじめ地域で助け合う体制の構築が求められています。↑

- 安芸高田市では、生活・介護サポーター養成講座*を実施しており、平成25年度末で修了者は443名となり、この内321名に登録訪問員*として登録を頂きました。
- 社会福祉協議会*や民生委員*等との連携の下、地域福祉に対する意識啓発と推進体制の充実が求められています。

<健康と生きがいづくり>

- 高齢者の介護予防に向け、健康・生きがいづくり、社会参加の促進が重要になっています。
- 豊かな知識・経験・技能を有する勤労意欲の高い高齢者が増加傾向にある中、就労・雇用機会の拡大による生きがいづくりが求められています。
- 老人クラブやシルバー人材センターは会員数の減少と高齢化が進んでおり、活動内容の魅力向上による会員確保が必要となっています。

II. 安心して暮らせるまちづくりへの挑戦

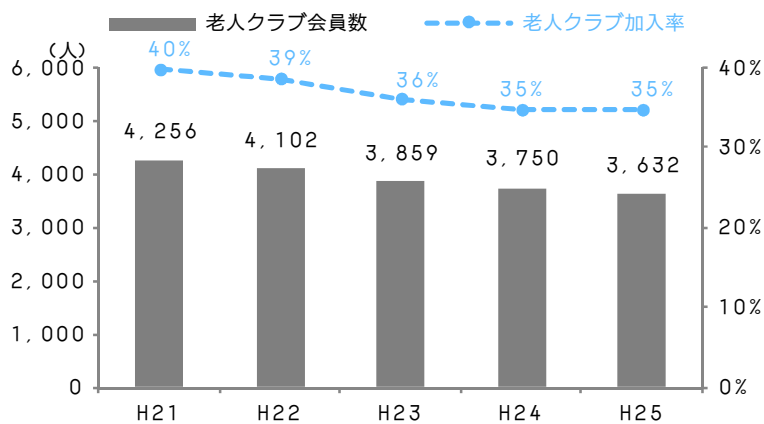
II-2. 支え合う福祉社会の実現と医療体制の充実



目標指標

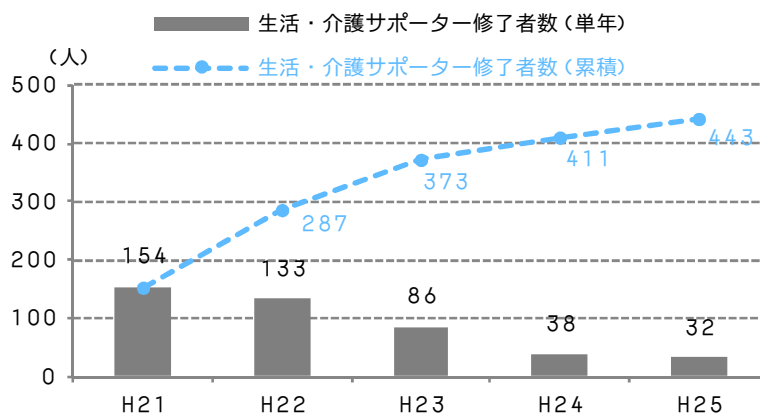
目標指標	現状値 (H25)	目標値 (H31)
安心生活創造事業* 登録訪問員数 (累計)	321 人	➡ 420 人
生活・介護サポーター修了者数 (累計)	443 人	➡ 550 人
老人クラブ会員数	3,632 人	➡ 3,650 人
シルバー人材センター会員数	258 人	➡ 305 人
介護予防教室 (げんき教室) 参加者数 (延べ人数)	9,297 人	➡ 15,000 人
家族介護教室参加者数 (延べ人数)	455 人	➡ 500 人
介護予防教室 (いきいき介護予防) 参加者数 (延べ人数)	1,294 人	➡ 2,500 人

●老人クラブ会員数と加入率の推移



出典：安芸高田市 高齢者福祉課 調べ

●生活・介護サポーター修了者数の推移



出典：安芸高田市 高齢者福祉課 調べ

具体的施策（公助）

施策75 介護保険サービスの充実

- 介護サービス等の情報提供や相談体制の充実を図ります。
- 介護サービス事業者への適切指導・助言を通して、サービスの品質確保を図ります。

施策76 介護予防の充実

- 生活習慣病*や寝たきり予防に向けた保健サービスの充実を図るとともに、自主的な健康づくりを推進します。
- 介護予防に関する出前講座等の実施により、意識啓発を図ります。
- 健康教育、健康診断、健康診査、機能訓練、訪問指導等の老人保健事業を推進します。
- 健康管理に必要な指導を行い、寝たきりや認知症の予防に努めます。

施策77 生活支援サービスの充実

- 高齢者ニーズを踏まえながら、関係機関との連携の下、外出支援・配食サービス等の充実に努めます。
- 地域による見守り体制の構築により虐待防止・認知症対策を推進します。
- 介護者に対する相談・支援体制の充実に取り組みます。

施策78 地域福祉体制の構築

- 住み慣れた地域や家庭において、高齢者が安心して暮らせるよう、医療・介護・予防・住まい・生活支援等のサービスを切れ目なく提供する「地域包括ケアシステム」の構築を進めます。
- 「市民総ヘルパー構想*」の具現化にむけ、支援が必要な高齢者と、家族・地域が一体となった総合的な支援を行うほか、社会福祉団体やボランティア団体の活動を支援します。

施策79 生きがいづくりの推進

- 老人クラブやスポーツ・文化活動、地域活動のほか、シルバー人材センターの充実や定年後就農支援等を通して、高齢者の社会参加と生きがいづくりを促進します。

施策80 高齢者にやさしいまちづくりの推進

- 高齢者の安全や利便性に配慮した住宅の供給を検討するとともに、高齢者が安心して地域で生活できるよう、公共施設、交通機関等のバリアフリー化を促進します。



施策実現につなげる自助・共助

- ▶ 高齢者は、老人クラブやシルバー人材センター、地域活動等へ参加し、趣味や就労を通じて社会と交流し続けるよう努めましょう。
- ▶ 地域では、社協や民生委員等と連携し、地域に居住する高齢者への声掛け・見守りを進めましょう。

●生活・介護サポーター養成講座



●安心生活創造事業 登録訪問員 支援体制調整会議



20 障害者福祉の充実

- 障害者の自立と社会参加を支援します。
- 障害者やその家族に対する相談・支援体制の充実に努めます。
- 障害福祉サービスの維持・向上に努めます。

現状と課題

<障害者福祉>

- 障害者基本法の改正、障害者総合支援法、障害者虐待防止法、障害者差別解消法の施行等、障害者の権利を守るための法整備が進んでいます。
- 安芸高田市には身体・知的・精神障害者を対象とした各種施設や事業所が整備されており、県内外から多くの利用があります。↑
- 近年顕在化してきた発達障害を含む、障害のある子供の保育や教育面における保護者の不安・負担感の軽減を図るため、今後更なる相談体制の充実に努めていく必要があります。
- 障害のある人が地域において自立して日常生活や社会生活を営むことができるよう、自己決定の尊重と意思決定の支援を行い、福祉施設から一般就労への移行等を促進する必要があります。

目標指標

目標指標	現状値 (H25)	目標値 (H31)
訪問系サービス*の利用登録者数	51 人	➡ 56 人
居住系サービス*の利用登録者数	155 人	➡ 165 人
障害者の就職者数 (累計)	21 人	➡ 25 人



具体的施策（公助）

施策81 障害者の権利擁護と理解醸成

- 障害者が地域で安心・安全な生活を送ることができるよう、権利擁護の取り組みを推進するとともに、成年後見制度*の有効活用を促進します。
- 障害者に対する正しい理解促進に向けた啓発活動を推進します。

施策82 相談・療育体制の充実

- 障害者基幹相談支援センター*を中心とする相談体制の構築により、障害者やその家族等に対する支援の充実を図ります。
- 療育相談等の情報収集機会を活用して幼少期からの障害の早期発見に努めるなかで、子育て支援員等による相談・支援体制の強化を図ります。

施策83 障害福祉サービスの充実

- 障害者の個々のニーズや実態に応じて、自立した日常生活や社会生活を営めるよう、居宅介護サービスや短期入所、日中活動サービスの量的・質的充実に努めます。
- 社会福祉法人に対する支援等を通して施設福祉サービスの充実に努めます。

施策84 障害者の自立と社会参加の促進

- 障害のある児童・生徒一人ひとりのニーズに応じた適正就学を図るとともに、障害児教育の内容の充実に努めます。
- 職業訓練等を通して障害者の就労を促進します。
- 障害者が文化・スポーツ・レクリエーション活動に親しむことができるよう、参加機会の拡充に努めるとともに、競技スポーツへの取り組み・参加を支援します。
- 手話奉仕員や要約筆記奉仕員等の人材育成・確保を図り、意思疎通支援を進めます。

施策85 障害者にやさしいまちづくりの推進

- 障害者のニーズに合わせた住宅改修支援の充実を図ります。
- グループホーム*の整備を支援し、高齢化した障害者の受け入れ環境整備を図ります。
- 公共施設や交通施設等のバリアフリー化を促進します。

施策実現につなげる自助・共助

- ▶ 地域では、障害の有無に関わらず、お互いに人権と個性を尊重し、安心して暮らすことができる社会づくりを目指して、地域社会における共生や社会的障壁の除去に取り組みしましょう。
- ▶ 事業者は、障害者の雇用機会の拡充に取り組みしましょう。

21 住民福祉の充実

- 低所得者やひとり親家庭の早期自立を支援します。
- 子育て世帯や重度心身障害者*等に対する医療費支援に取り組みます。
- 国民年金・国民健康保険制度の円滑な運用に取り組みます。

現状と課題

<保健医療>

- 安芸高田市では、乳幼児や重度心身障害者、ひとり親家庭の養育・生活支援を目的に医療費助成を行ってきました。
- このうち乳幼児医療については、平成25年度より対象者を中学生まで拡大実施する等、制度改善を図っています。

<低所得者・ひとり親家庭>

- リーマンショック*後から増加傾向にあった生活保護世帯数は、平成24年初頭から微減しています。
- ひとり親家庭は増加傾向にあり、母子自立支援員による家庭訪問等を通して、相談・指導を行っています。↑

- これら世帯の早期安定・自立に向け、それぞれの実情に応じた制度や相談体制の充実を図っていく必要があります。

<社会保険>

- 国民健康保険は、高齢化の進展に伴い医療費が増加する中、適正受診に関する啓発活動の推進により医療費の抑制を図っていくことが求められています。
- 国民年金は、制度への不安がある中、様々な制度改正等が行われてきました。
- 年金制度に対する理解を促し、対象者の加入や収納率の向上を図り、将来的な無年金者の発生防止と年金制度の維持につなげていくことが求められています。

目標指標

目標指標	現状値 (H25)	目標値 (H31)
特定健診*受診率	52%	↑ 65%



具体的施策（公助）

施策86 低所得者の自立支援

- 保護の必要な世帯の実情を的確に把握し、生活保護制度の適正な運用に努めます。
- 社会福祉協議会*や民生委員*・児童委員*等との連携の下、生活上の諸問題について適切な指導助言を行い、早期の自立を促します。

施策87 ひとり親家庭の支援充実

- ひとり親家庭及び寡婦*に対する相談・指導体制の充実を図ります。
- 福祉資金貸付制度*の活用や技能・資格取得支援等を通して経済的自立を促進します。
- 児童の養育機能を補完する短期保護制度や介護人派遣制度の活用等を促進します。

施策88 保健医療体制の充実

- 健康の保持及び増進・福祉の向上に向け、子育て世帯や重度心身障害者、ひとり親家庭等に対する医療費の一部助成を実施するとともに、各制度の周知に取り組みます。

施策89 国民年金制度の運用

- 年金制度についての広報・啓発活動を積極的に展開し、年金制度の周知徹底を図るとともに、加入の奨励に努めます。
- 年金事務所と連携し、未納者の実態把握に努め、収納率の向上を図ります。

施策90 国民健康保険制度の運用

- 医療費の適正化を図るため、審査体制を強化するとともに、適正受診の促進等、被保険者への意識啓発を推進します。
- 保険税の適正な賦課*に努めるとともに、収納体制を強化し収納率の向上に努めます。

施策実現につなげる自助・共助

- ▶ 市民は、国民年金、国民健康保険の期限内納付に努めましょう。